

科 目		必・選	担 当 教 員		学年・学科		単位数	授 業 形 態					
国 語 ( Japanese )		必	宮本克之 北澤正憲		2 年生 知能機械工学科		3	現国 通年2時間 古典 半年2時間					
授業概要		理解と表現の二つに大別できる。まず理解力の養成は表現の基礎となるものである。随想や評論などの説明的文章の学習により論理的な思考力を養い、小説や詩歌など文学的文章の学習により人間存在への理解を深める。同時に語彙や漢字力を増やし、文章力を高め、将来の論文作成や口頭発表に役立てる。古文では読解・鑑賞の方法を修得し、思考力と言語感覚を養うとともに、自国の文化を知る。											
到達目標		1、教材文を正しく読み取り、説明的文章では筆者の主張や意図を正確に理解し、文学的文章では主題を把握し、他者の心情を十分理解できること。 2、感想文、小論文などで自分の感じたことや考えたことを正確に表現でき、また調べたことや自分の意見を積極的に発表することができること。 3、古文の重要語句を理解することができ、その意味の取り方に慣れること。											
評価方法		4 回の定期試験 7 0 % ( 古典のある半期については、現国対古典の比を 1 対 1 とする。 )、提出物、小テスト、意見発表を 3 0 % として評価。 6 0 点以上を合格とする。											
教科書等		現国.....『現代文』(三省堂)、『基礎からの国語表現の実践』(京都書房)、『標準漢字演習』(とうほう)、プリント、『旺文社国語辞典』。古典.....『新編古典』(東京書籍)、『用例古語辞典』(学研)。											
内 容		現 国				古 典		学習・教育目標					
第 1 週	ガイダンス					「土佐日記」 李白の詩等		D	D				
第 2 週	随想「カフェの開店準備」					" "		D	D				
第 3 週	"					" "		D	D				
第 4 週	"					「源氏物語」 雑説等		D	D				
第 5 週	小説「ひよこの眼」					" "		D	D				
第 6 週	"					" "		D	D				
第 7 週	" 表現 感想文を書く。					" "		D	D				
第 8 週	" 問題集 文章の基礎					" 前期中間試験		D	D				
第 9 週	詩歌「現代の短歌」					「奥の細道」 出藍誉等( 寓話 )		D	D				
第 1 0 週	"					" "		D	D				
第 1 1 週	"					" "		D	D				
第 1 2 週	評論「ミロのヴィーナス」					「去来抄」 論語等( 思想 )		D	D				
第 1 3 週	"					" "		D	D				
第 1 4 週	" 表現 意見文を書く。					" "		D	D				
第 1 5 週	" 問題集 文章の基礎					古典のまとめ 前期末試験		D	D				
第 1 6 週	評論「現実と仮想」							D					
第 1 7 週	"							D					
第 1 8 週	"							D					
第 1 9 週	"							D					
第 2 0 週	詩歌「今日」ほか							D					
第 2 1 週	"							D					
第 2 2 週	" 表現 鑑賞文を書く。							D					
第 2 3 週	" 問題集 文章の実践					後期中間試験		D					
第 2 4 週	小説「ころ」							D					
第 2 5 週	"							D					
第 2 6 週	"							D					
第 2 7 週	"							D					
第 2 8 週	"					古典を後期に行う場合は、後期に読み替えることとする。		D					
第 2 9 週	" 表現 批評文を書く。							D					
第 3 0 週	" 問題集 文章の実践					後期末試験		D					
( 特記事項 ) 将来の卒業研究発表等に向けて、誤解されない正しい文章で感想や意見を書くことや、人の前で発表することを重視する。			JABEE との関連										
			JABEE	a	b	c	d1	d2a)d	d2b)c)	e	f	g	h
			本校の学習・教育目標	A	A	C	C	C	B	B	D	C	B

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、6 0 点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。(【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価分は、特に記載の無いものは、25%ずつになります。)

(現代文)

第1週 ガイダンス

国語を学ぶ意義、「ことば」を学ぶ目的と方法について確認する。

第2週～第4週「カフェの開店準備」

日常風景から哲学的思考を抽出する随想を読解し、行為と目的の関係について考える。

第5週～第8週「ひよこの眼」

現代小説を読解し、登場人物の心理や自己と他者との関わりを読み解く。「うわさ」という制度によって形成される集団と、それに帰属しようとしなない個人の対比的な姿を考察する。

第9週～第11週「現代の短歌」ほか

凝縮された言語表現の解釈に挑戦し、言語とイメージの関係を実践的に把握する。

第12週～第15週「ミロのヴィーナス」

「美」を考察する抽象的な評論を通して、筆者の驚くべき逆説を理解するとともに、到達しえないものへのあこがれがいかにかに描かれているかを読み取る。

第16週～第19週「現実と仮想」

論理的に書かれた文章を読み、筆者の主張を理解し、現代社会を「生きる」ことの意味について考える。

第20週～第23週 「今日」ほか

言語とイメージの関係を認識し、作品の基調を形成する世界観を理解する。

第24週～第30週 「こころ」

長編小説に描かれた登場人物の性格や心理を読み取り、人間の内面の奥深さや、自己を通すことが一方では罪を生むという人間の関係性の複雑さを認識する。

各時間のなかで、文章表現力を鍛えるために、感想文や意見文を書いたり発表したりする。またその基礎として、問題集を用い、言葉や漢字の学習や、誤解のない文章の書き方、文章構成法などの演習問題を行う。

(古典)

第1週～第3週

「土佐日記」 最初の仮名書き・和文体の日記文学である点や後の女流日記文学に与えた影響、また、女性仮託の意味を理解する。

「唐詩」 近体詩の基本的事項を学び、形式・内容の両面から各詩人の特色を学ぶ。

第4週～第8週

「源氏物語」 他の物語文学との関係やその位置について学ぶ。

「雑説」 題名の意味とその主張するところを学ぶ。また、論説的な文章であることを理解し、正しく読解する。

第9週～第11週

「奥の細道」 紀行文について学ぶ。作者の「旅」に対する考えをつかむ。

「寓話」 人々に親しまれ、言語生活や教養のなかにとけ込んでいる故事を学ぶ。

第12週～第15週

「去来抄」 俳論の理解を通して、句の凝縮された表現を理解する。

「論語」 孔子・孟子の特色あるものの見方、考え方を学ぶ。